

配筋架台

スラブ型枠上での作業ができますので、組立精度、作業効率が向上します。
左右に段差のある場合には、ベースを外してジャッキベース等をご使用ください。
外周の梁筋の作業では、片側を足場から支持して使用できます。

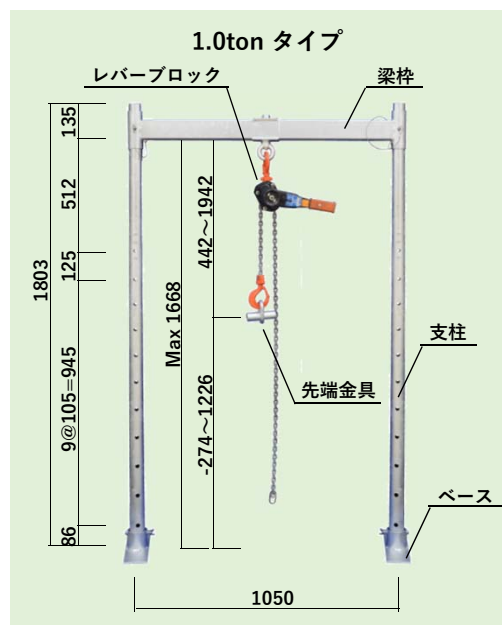
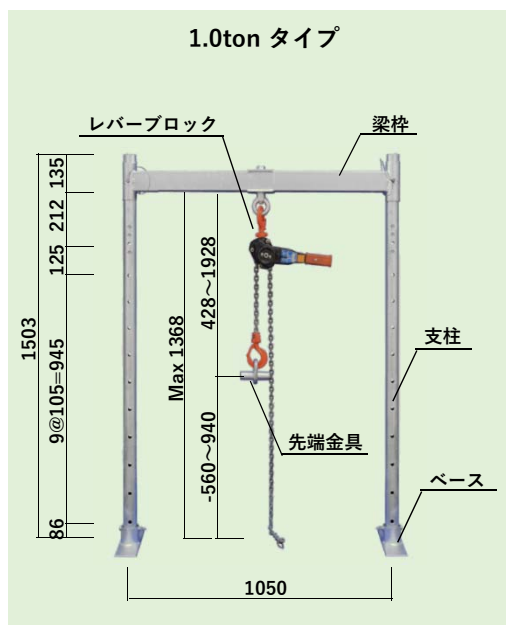
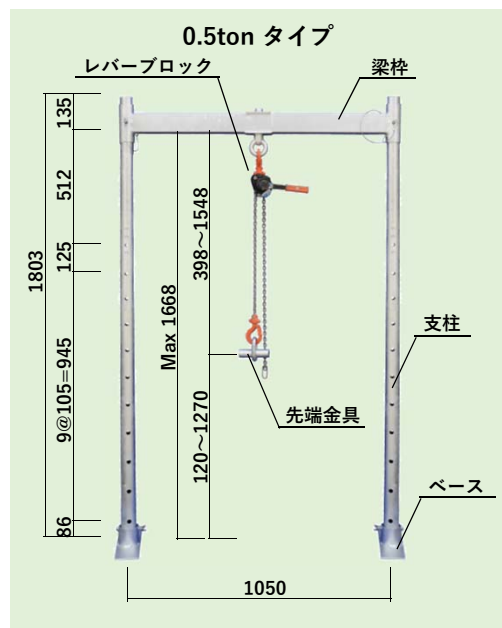
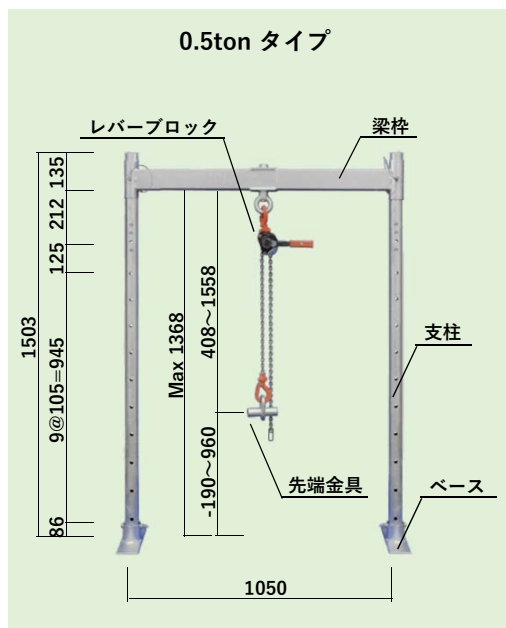
許容荷重： 0.5tonタイプ 500kg
1.0tonタイプ 1000kg

1500 タイプ

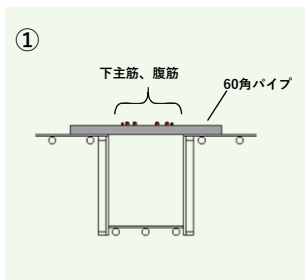
機種		0.5 ton	1.0 ton
名称	品番	数量	数量
梁 枠	H-01N	1	1
支 柱	H-02NM	2	2
ベ ース	H-05N	2	2
レバ ー ブ ロ ッ ク	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先 端 金 具	H-06N	1	1

1800 タイプ

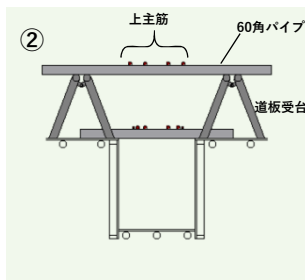
機種		0.5 ton	1.0 ton
名称	品番	数量	数量
梁 枠	H-01N	1	1
支 柱	H-02NH	2	2
ベ ース	H-05N	2	2
レバ ー ブ ロ ッ ク	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先 端 金 具	H-06N	1	1



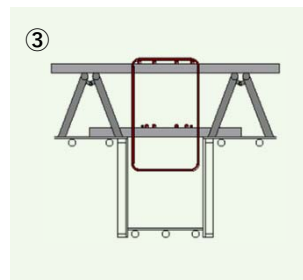
使用例



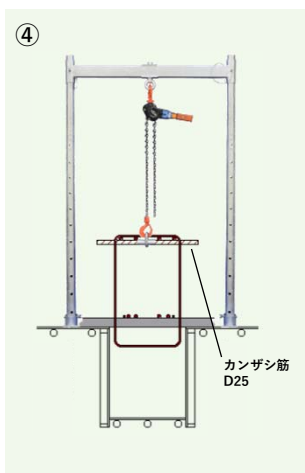
① 下主筋、腹筋を仮置きする。



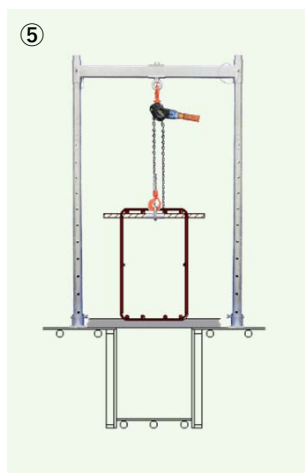
② 両側の道板受台に60角パイプを渡し、上主筋を仮置きする。



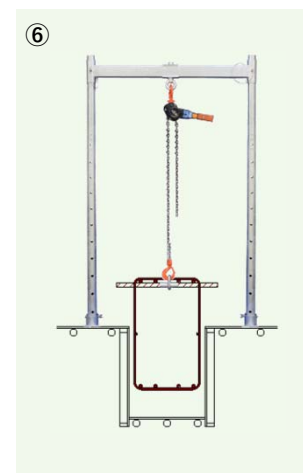
③ スターラップを配置し、上主筋を結束する。



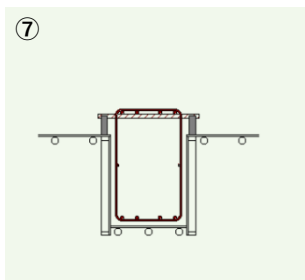
④ 配筋架台を3~5m置きにスラブ上に配置し、レーバブロックを巻上げ上主筋とスターラップを持ち上げる。



⑤ 下主筋、腹筋の結束する。



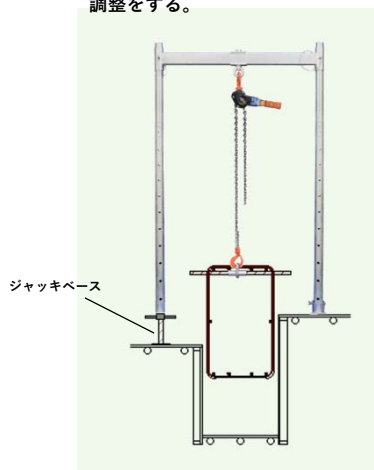
⑥ 結束完了した梁鉄筋を吊下す。



⑦ カンザシ筋をスペーサーの上に置き、配筋架台を取り外す。

段差のある場合

片側にジャッキベース使用し高さ調整をする。



外周梁の場合

外部足場を利用し、自在クランプで設置する。

